

重点項目	知 学習指導（基本的な学習習慣づくり）													
重点課題	主体的に学ぼうとする子供の育成（学習規律の定着）													
現状	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の取組や子供の実態を踏まえて、「桜井小☆学習の約束」（学習規律を含んだ5つの目標）を見直し、年度当初に学級で共通理解を図り、指導を始めている。 ・特に、授業の前に学習の用意を整えて着席をすること、相手意識をもって話すことや話を聞こうとする意識が低い。 													
達成目標	自己評価カードの達成率80%以上を目指す。													
方策	<p>◎学習規律の定着を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「桜井小☆学習の約束」の5つの目標（①挨拶が終わったら次の準備をしよう②学習用具をそろえよう③先生や友達を見て最後まで話を聞こう④先生や友達に自分の考えを伝えよう⑤各学級での学習に関する目当て）について、学級全体で約束を理解し、継続して取組を行う。 ・家庭学習の充実を目指すため、3つの取組（①『桜井小☆家庭学習の進め方』の配布②家庭学習の仕方の指導③「ノート展」の開催）を行う。 													
今年度の取組	<p>○子供の実態を踏まえて昨年度までの「桜井小☆学習の約束」を見直し取り組んだ。落ち着いて学習を進めることができるよう、どの学年でも大切にしたい4つの目標と各学年での重点目標1つを設定した。一人一人の子供や学級全体の取組の様子を教師が見取ったり、学級全体で振り返ったりする機会を定期的に設け、子供たちが主体的に取り組めるよう、指導を工夫しながら、定着を目指した。</p> <p>○家庭学習の充実を図るために、例年配布している「桜井小☆家庭学習の進め方」の自主学習の内容例を見直し、新たに「自主学習ノート」の取組の見本例（国語科と算数科）を加え、配布した。その際担任が各学年の実態に応じ、どのような内容に取り組むとよいか、ノートはどのように使うとよいか等、具体的に指導した。学習参観や懇談会の時期に合わせ、学期に一度、なかよしルームに全学年の自主学習ノートの取組を紹介する「校内ノート展」を開催した。</p> <p>○学期に一度、学習規律の取組を振り返る「学びウィーク」を設定し、「桜井小☆学習の約束」をより意識して取り組むことができるようにした。</p>													
結果	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="2">「桜井小☆学習の約束」の目当てを4つ以上達成できた。</td> </tr> <tr> <td>1学期</td> <td colspan="2">83.8%</td> </tr> <tr> <td>2学期</td> <td colspan="2">88.8%</td> </tr> <tr> <td>3学期</td> <td colspan="2">84.6%</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価カードの達成率80%を達成することができた。 			「桜井小☆学習の約束」の目当てを4つ以上達成できた。		1学期	83.8%		2学期	88.8%		3学期	84.6%	
	「桜井小☆学習の約束」の目当てを4つ以上達成できた。													
1学期	83.8%													
2学期	88.8%													
3学期	84.6%													
最終評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学習規律の定着が進んできた。特に、目標①や②については、どの学年の子供も自己評価が高く、実際に落ち着いて学習に取り組む姿が見られることから、学習規律が定着してきていると考える。しかし、目標④の意欲的に自分の考えを伝えることについては、そのほかの目標に比べ、自己評価が低い子供が多く、課題がある。 ・年度当初に「自主学習ノート」の見本例を学年毎に提示したことで、自ら課題を設定し、学習に取り組むことができるようになってきた。また、年3回の「ノート展」では、全学年の自主学習ノートの取組を多く紹介したことで、他学年の学習やその取組に関心をもつ子供が見られた。また、教科の学習にとらわれず、自分の興味がある事柄をノートにまとめ、学びを深める姿も見られるようになった。 ・上記2点から、学習規律の定着には一定の成果が得られたといえるが、主体的に学習に取り組む態度の育成については課題が残った。 												
外部評価	<ul style="list-style-type: none"> ・五感を通して触れ合う体験を充実させて、勉強の仕方を自分で体得していくことが大切である。 ・学校は校外学習等で地域に出かけて学習していることが分かった。神話や言い伝え等の話をするなど地域として子供たちの学習に協力したい。よりいっそう地域を教育資源として活用したい。 													
次年度に向けての課題	<p>主体的に学習に取り組む態度の育成を図るために、次の2点について取組を進める。</p> <p>①「桜井小☆学習の約束」を継続し、指導を行う。今後も、学習形態や授業展開を工夫することで、一人一人が自分の考えを明確にし、考えを表現できるよう支援していく。</p> <p>②本校では、家庭学習の時間の目安を“10分×学年”をしている。家庭学習の充実を図るために、今後も自主学習を推奨する。子供が自ら課題を設定したり学習を進めたり、興味・関心に応じて幅広く学習に臨んだりすることができるよう、丁寧に指導を続けていく。</p>													